

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成25年10月3日(2013.10.3)

【公表番号】特表2013-501591(P2013-501591A)
 【公表日】平成25年1月17日(2013.1.17)
 【年通号数】公開・登録公報2013-003
 【出願番号】特願2012-524855(P2012-524855)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 17/00 (2006.01)

A 6 1 F 13/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/00 3 1 0

A 6 1 F 13/02 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成25年8月9日(2013.8.9)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

患者を治療するためのシステムであって：

弾性層を備える包帯であって、該弾性層は、皮膚接着剤、第 1 の取り付け領域、および第 2 の取り付け領域を有する、包帯；ならびに

引張要素であって：

該包帯の該第 1 の取り付け領域に除去可能に連結された第 1 の構造体であって、該第 1 の構造体は、複数の比較的硬質のセグメント、および少なくとも 1 つの比較的曲げ可能な部分を備え、該比較的曲げ可能な部分は、該複数の比較的硬質のセグメントのうちの少なくとも 2 つの間で曲がることを可能にする、第 1 の構造体；および

該包帯の該第 2 の取り付け領域に除去可能に連結された第 2 の構造体；

を備え、該引張要素は、該包帯が比較的弱い歪みを与えられた第 1 の構成、および該包帯が比較的強い歪みを与えられた第 2 の構成を有する、引張要素を備える、システム。

【請求項 2】

前記包帯の前記第 1 の取り付け領域は、前記引張要素の前記第 1 の構造体に取り付けられた材料の別個のシートを備える、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記包帯の前記第 2 の取り付け領域は、前記引張要素の前記第 2 の構造体に取り付けられた材料の別個のシートを備える、請求項 1 または 2 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記第 1 の構造体および前記第 2 の構造体は、長さを有し、そして前記少なくとも 1 つの比較的曲げ可能な部分は、該第 1 の構造体および該第 2 の構造体の長さに沿った屈曲を可能にする材料を含む、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載のシステム。

【請求項 5】

前記少なくとも 1 つの比較的曲げ可能な部分はヒンジを備える、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載のシステム。

【請求項 6】

前記少なくとも１つの比較的曲げ可能な部分は、ワイヤまたは支柱を備える、請求項１～４のいずれか１項に記載のシステム。

【請求項７】

前記第１の構造体および前記第２の構造体のうちの少なくとも一方は、前記引張要素のある範囲の曲がりを可能にするように構成された、複数の比較的硬質のセグメントを備え、そして該複数のセグメントは、該引張要素の曲がりの範囲を制限するように構成されている、請求項１～６のいずれか１項に記載のシステム。

【請求項８】

前記引張要素は、被術者の身体プロファイルの一部に概ねマッチするような形状にされるように構成されている、請求項１～７のいずれか１項に記載のシステム。

【請求項９】

前記引張要素は、前記包帯を成形するように構成されている、請求項１～８のいずれか１項に記載のシステム。

【請求項１０】

関節リンケージをさらに備え、該関節リンケージは、前記引張要素の前記第１の構造体と前記第２の構造体とに連結され、そして該引張要素が前記第１の構成と前記第２の構成との間を移動することを可能にすることにより、前記包帯の前記弾性層に歪みを与えるように構成されている、請求項１～９のいずれか１項に記載のシステム。

【請求項１１】

患者を治療するためのシステムであって：

弾性層を備える包帯であって、該弾性層は、皮膚接着剤、第１の取り付け領域および第２の取り付け領域を有する、包帯；ならびに

引張部材であって、該包帯に力を及ぼして該包帯の該弾性層に歪みを付与するように構成されており、そして該弾性層から分離するように構成されており、該引張部材は、該包帯の該第１の取り付け領域に連結されるように構成された第１の構造体、および該包帯の第２の取り付け領域に連結されるように構成された第２の構造体を備え、該引張部材は、該引張部材の該第１の構造体と該第２の構造体との間に関節リンケージをさらに備え、該関節リンケージは、該引張部材が第１の構成と第２の構成との間で動くことを可能にすることにより、該包帯の該弾性層に歪みを与えるように構成されている、引張部材を備える、システム。

【請求項１２】

前記関節リンケージは旋回要素を備える、請求項１１に記載のシステム。

【請求項１３】

前記第１の構造体および前記第２の構造体のうちの少なくとも一方が、該第１の構造体と該第２の構造体との間で曲がることを可能にするように構成された複数の個別的なセグメントを備える、請求項１１または１２に記載のシステム。

【請求項１４】

前記セグメントが曲げ可能な構造体または変形可能な構造体によって取り付けられている、請求項１３に記載のシステム。

【請求項１５】

前記包帯が、前記弾性層の皮膚接着領域に隣接するフラップ領域を備える、請求項１１～１４のいずれか１項に記載のシステム。

【請求項１６】

前記引張部材が、前記引張部材を前記包帯から解除するように構成された解除機構を備える、請求項１１～１５のいずれか１項に記載のシステム。

【請求項１７】

前記引張部材は、前記包帯に力を及ぼして歪みを付与するときに、１より大きい力学的な利点を提供するように構成されている、請求項１１に記載のシステム。

【請求項１８】

前記引張部材の前記第１の構造体および前記第２の構造体のうちの少なくとも一方は、

取り付けられた包帯の代替的な形状又はプロファイルを提供するために、湾曲可能、曲げ可能、変形可能、成形可能、又は移動可能である、請求項 1 1 ~ 1 7 のいずれか 1 項に記載のシステム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明は、例えば、以下を提供する：

(項目 1)

皮膚表面を治療する装置において、

第 1 の複数の外向き突起を備えている第 1 の装置取り付け部材と、

第 2 の複数の外向き突起を備えている第 2 の装置取り付け部材と、

前記第 1 及び第 2 の装置取り付け部材の間に分離力を及ぼすように構成された弾力性部材と、を備えている装置。

(項目 2)

前記弾力性部材を引き込まれた構成に維持するように構成された解除可能な係止機構を更に備えている、項目 1 に記載の装置。

(項目 3)

前記引き込まれた構成は、歪みを与えられた構成である、項目 2 に記載の装置。

(項目 4)

前記解除可能な係止機構は、解除可能なラッチを備えている、項目 2 に記載の装置。

(項目 5)

前記解除可能な係止機構は、所定の歪みで係止するように構成されている、項目 3 に記載の装置。

(項目 6)

前記解除可能な係止機構は、前記所定の歪みで係止される時、更に歪みを与えられても耐えるように構成されている、項目 5 に記載の装置。

(項目 7)

前記解除可能な係止機構は、複数の所定の歪みで係止されるように構成されている、項目 3 に記載の装置。

(項目 8)

前記第 1 の装置取り付け部材と、前記第 2 の装置取り付け部材と、前記弾力性部材は、一体化して形成されている、項目 1 に記載の装置。

(項目 9)

創傷包帯材装置は、取り付けられた包帯材を歪みを与えられた構成に維持するように構成され、第 1 の取り付け領域と、第 2 の取り付け領域と、前記包帯材が歪みを与えられた構成にある時、取り付けられた包帯材へのアクセスを提供するように構成された前記第 1 及び第 2 の取り付け領域の間のアクセス領域と、を備えている、アプリケーションを備えている、創傷包帯材装置。

(項目 1 0)

創傷包帯材において、

上面、下面、第 1 の縁及び前記第 1 の縁に対向する第 2 の縁、を備えているシリコンシート構造であって、前記シリコンシートは、

第 1 の接着領域、

非接着領域で前記第 1 の接着領域と隔てられた第 2 の接着領域、を備えているシリコンシート構造と、

前記第 1 の縁と前記第 1 の接着領域との間に位置する第 1 のフラップ領域と、

前記第 2 の縁と前記第 2 の接着領域との間に位置する第 2 のフラップ領域と、

前記第 1 のフラップ領域と前記第 1 の接着領域との間に位置する第 1 のアプリケーション取り付け部位と、

前記第 2 のフラップ領域と前記第 2 の接着領域との間に位置する第 2 のアプリケーション取り付け部位と、を備えている、創傷包帯材。

(項目 1 1)

前記第 1 の接着領域と前記第 2 の接着領域に剥離可能に取り付けられた第 1 の剥離ライナーを更に備えている、項目 1 0 に記載の創傷包帯材。

(項目 1 2)

前記第 1 のフラップ領域は、接着性フラップ領域である、項目 1 1 に記載の創傷包帯材。

(項目 1 3)

前記第 1 のフラップ領域に剥離可能に取り付けられた第 2 の剥離ライナーを更に備えている、項目 1 2 に記載の創傷包帯材。

(項目 1 4)

前記第 2 のフラップ領域は、接着性フラップ領域である、項目 1 3 に記載の創傷包帯材。

(項目 1 5)

前記第 2 のフラップ領域に剥離可能に取り付けられた第 3 の剥離ライナーを更に備えている、項目 1 4 に記載の創傷包帯材。

(項目 1 6)

前記第 1 及び第 2 の接着領域は、少なくとも約 2 4 0 k g / m の剥離力を備えた感圧シリコン接着剤を備えている、項目 1 0 に記載の創傷包帯材。

(項目 1 7)

前記第 1 及び第 2 の接着領域は、少なくとも約 2 7 0 k g / m の剥離力を備えた感圧シリコン接着剤を備えている、項目 1 0 に記載の創傷包帯材。

(項目 1 8)

前記第 1 及び第 2 の接着領域は、少なくとも約 3 0 0 k g / m の剥離力を備えた感圧シリコン接着剤を備えている、項目 1 0 に記載の創傷包帯材。

(項目 1 9)

前記第 1 及び第 2 の接着領域は、少なくとも約 3 3 0 k g / m の剥離力を備えた感圧シリコン接着剤を備えている、項目 1 0 に記載の創傷包帯材。

(項目 2 0)

前記第 1 のアプリケーション取り付け部位は、複数の取り付け開口部を備えている、項目 1 0 に記載の包帯材。

(項目 2 1)

前記第 1 の剥離ライナーは、下面と、前記下面とは異なる表面テクスチャを備えた上面と、を有している、項目 1 1 0 に記載の包帯材。

(項目 2 2)

包帯材において、

上面、下面、第 1 の縁、第 2 の縁、第 1 のアプリケーション取り付け部位、前記第 1 の縁と前記第 1 のアプリケーション取り付け部位との間のフラップ領域、前記第 2 の縁から間隔を空けて配置された第 2 のアプリケーション取り付け部位、を備えた弾性層と、

前記弾性層の前記下面上に位置する第 1 の接着領域と、を備えている包帯剤。

(項目 2 3)

創傷を治療する方法において、

第 1 の歪みを与えられていない領域と第 2 の歪みを与えられていない領域との間の弾性包帯の内側領域に歪みを与えることであって、それぞれの歪みを与えられていない領域は、前記包帯の 2 つの対向する縁から間隔を空けて配置されている、弾性包帯の内側領域に歪みを与えることと、

前記包帯の前記歪みを与えられた内側領域を皮膚部位に取り付けることと、から成る創

傷を治療する方法。

(項目 2 4)

前記弾性包帯の前記内側領域に歪みを与えることは、前記包帯の前記歪みを与えられた内側領域を前記皮膚部位に取り付ける前に行われる、項目 2 3 に記載のような創傷を治療する方法。

(項目 2 5)

前記包帯の前記歪みを与えられた内側領域を前記皮膚部位に取り付けることは、前記包帯の 2 つの対向する縁を前記皮膚部位に取り付けずに行われる、項目 2 3 に記載のような創傷を治療する方法。

(項目 2 6)

前記包帯の前記内側領域を前記皮膚部位に取り付けた後、前記包帯の 2 つの対向する縁を前記皮膚部位に取り付けることを更に備えている、項目 2 5 に記載の方法。

(項目 2 7)

前記取り付けられた包帯のピーク歪みを下げながら、前記皮膚部位でピーク歪みを上げることが更に備えている、項目 2 3 に記載のような創傷を治療する方法。

(項目 2 8)

前記包帯の前記 2 つの対向する縁を前記皮膚部位に取り付けることを更に備えている、項目 2 3 に記載のような創傷を治療する方法。

(項目 2 9)

前記包帯の前記 2 つの対向する縁を前記皮膚部位に取り付ける前に、前記包帯の前記歪みを与えられていない領域に歪みを与えることを更に備えている、項目 2 8 に記載のような創傷を治療する方法。

(項目 3 0)

前記取り付けられていない弾性包帯の前記内側領域に歪みを与えることは、前記取り付けられていない弾性包帯の前記内側領域を所定の歪みまで伸長させることを備えている、項目 2 3 に記載のような創傷を治療する方法。

(項目 3 1)

切開治療システムにおいて、

少なくとも 2 つのフックアンドループ領域と少なくとも 1 つの皮膚接着領域を備えた弾性部材を備えている、切開治療システム。

(項目 3 2)

前記弾性部材は、弾性層部材である、項目 3 1 に記載の切開治療システム。

(項目 3 3)

前記少なくとも 1 つの接着領域は、前記少なくとも 2 つのフックアンドループ領域ではなく前記弾性部材の対向面に位置している、項目 3 1 に記載の切開治療システム。

(項目 3 4)

前記少なくとも 2 つのフックアンドループ領域のそれぞれは、フックアンドループ領域のループ型である、項目 3 3 に記載の切開治療システム。

(項目 3 5)

前記弾性部材は、少なくとも 2 つの皮膚接着領域を備えている、項目 3 1 に記載の切開治療システム。

(項目 3 6)

前記弾性部材の前記少なくとも 2 つのフックアンドループ領域を補完する少なくとも 2 つのフックアンドループ領域を備えたアプリケータを更に備えている、項目 3 1 に記載の切開治療システム。

(項目 3 7)

皮膚表面を治療するシステムにおいて、

第 1 の装置取り付け部材と、

第 2 の装置取り付け部材と、

前記第 1 と第 2 の装置取り付け部材の分離を維持するために前記装置の上に外部力を持

続的に加えることを必要とせず前記第 1 と第 2 の装置取り付け部材を移動可能に分離するように構成された折り畳み式構造と、を備えた引張部材を備えている、システム。

(項目 3 8)

前記引張部材の前記第 1 及び第 2 の装置取り付け部材に付着するように構成された弾性部材を更に備えている、項目 3 7 に記載のシステム。

(項目 3 9)

前記弾性部材は、前記引張部材の前記第 1 及び第 2 の装置取り付け部材に除去可能に付着するように構成されている、項目 3 8 に記載のシステム。

(項目 4 0)

前記弾性材料は、60%の工学歪みで1mm当たり少なくとも0.35ニュートンの幅当たりの荷重を有している、項目 3 8 に記載のシステム。

(項目 4 1)

前記弾性材料は、60%の工学歪みで1mm当たり約2ニュートン以下の幅当たりの荷重を有している、項目 4 0 に記載のシステム。

(項目 4 2)

前記弾性材料は、60%の工学歪みで1mm当たり約1ニュートン以下の幅当たりの荷重を有している、項目 4 0 に記載のシステム。

(項目 4 3)

前記弾性材料は、60%の工学歪みで1mm当たり約0.7ニュートン以下の幅当たりの荷重を有している、項目 4 0 に記載のシステム。

(項目 4 4)

前記弾性材料は、60%の工学歪みで1mm当たり約0.5ニュートン以下の幅当たりの荷重を有している、項目 4 0 に記載のシステム。

(項目 4 5)

前記弾性材料は、0%の工学歪みから60%まで減らない幅当たりの荷重を有している、項目 4 0 に記載のシステム。

(項目 4 6)

前記弾性材料は、0%の工学歪みから60%まで直線的に増える幅プロット当たりの荷重を有している、項目 4 0 に記載のシステム。

(項目 4 7)

前記弾性材料は、0%の工学歪みから60%まで凸状ではない幅プロット当たりの荷重を有している、項目 4 0 に記載のシステム。

(項目 4 8)

前記弾性材料は、30%の工学歪みまで歪みを与え、表面に付着させた時に少なくとも8時間の間実質的な一定応力を200kPaから約500kPaまでの前記範囲内に維持するように構成された接着剤を備えている、項目 4 0 に記載のシステム。

(項目 4 9)

前記弾性材料は、30%の工学歪みまで歪みを与え、表面に付着させた時に少なくとも8時間の間実質的な一定応力を200kPaから約400kPaまでの前記範囲内に維持するように構成された接着剤を備えている、項目 4 0 に記載のシステム。

(項目 5 0)

前記実質的な一定応力は、少なくとも8時間を通して10%未満だけ変化する、項目 4 9 に記載のシステム。

(項目 5 1)

前記実質的な一定応力は、少なくとも8時間を通して5%未満だけ変化する、項目 4 9 に記載のシステム。

(項目 5 2)

前記折り畳み式構造は、2つの折り畳み式支持部と2つの固定式支持部を備えている、項目 3 7 に記載のシステム。

(項目 5 3)

前記 2 つの折り畳み式支持部のそれぞれは、前記 2 つの固定式支持部の両方と関節結合している、項目 5 2 に記載のシステム。

(項目 5 4)

前記 2 つの折り畳み式支持部は、それぞれ、2 つの旋回可能に接続された副支持部を備えている、項目 5 3 に記載のシステム。

(項目 5 5)

前記折り畳み式構造は、折り畳み状態と拡張状態を備えていて、前記折り畳み状態では、前記旋回可能に接続された副支持部のそれぞれは、前記 2 つの折り畳み式支持部と直交する線と少なくとも 30 度の角度を成している、項目 5 4 に記載のシステム。

(項目 5 6)

使用者が及ぼす力を、前記折り畳み式構造を通して送るように構成された型押し構造を更に備えている、項目 3 7 に記載のシステム。

(項目 5 7)

前記型押し構造は、型押し面と弾力性部材を備えている、項目 5 6 に記載のシステム。

(項目 5 8)

前記弾力性部材は、ばねである、項目 5 7 に記載のシステム。

(項目 5 9)

前記 2 つの固定式支持部は、実質的に平行に向いており、前記 2 つの固定式支持部の少なくとも 1 つは、前記平行な向きに垂直な運動軸に沿って並進するように構成されている、項目 5 2 に記載のシステム。

(項目 6 0)

前記折り畳み式構造は、前記分離力を及ぼす時に力学的な利点を提供するように構成されている、項目 3 7 に記載のシステム。

(項目 6 1)

前記力学的な利点は、前記折り畳み式構造の移動範囲を通して提供される、項目 6 0 に記載のシステム。

(項目 6 2)

前記力学的な利点は、前記折り畳み式構造の移動範囲の一部で提供される、項目 6 0 に記載のシステム。

(項目 6 3)

皮膚治療装置に歪みを引き起こすために分離力を及ぼすように構成された引張装置において、前記引張装置は、

引張部材と、

除去可能に皮膚治療装置に付着するように構成された第 1 の取り付け部分と除去可能に前記皮膚治療装置に付着するように構成された第 2 の取り付け部分と、を備えていて、

前記引張部材は、前記第 1 及び第 2 の取り付け部分に取り付けられた皮膚治療装置に歪みを引き起こすために前記第 1 の取り付け部分と前記第 2 の取り付け部分との間に分離力を及ぼすように構成されている、引張装置。

(項目 6 4)

前記引張部材は、前記皮膚治療装置の 1 mm 幅当たり少なくとも約 0.25 ニュートンの荷重を用いて前記皮膚治療装置に 40 % の工学歪みまで歪みを与えるように構成されている、項目 6 3 に記載の引張装置。

(項目 6 5)

前記皮膚治療装置に 40 % の前記工学歪みまで歪みを与える前記荷重は、前記皮膚治療装置の 1 mm 幅当たり約 1 ニュートンより大きくない、項目 6 3 に記載の引張装置。

(項目 6 6)

前記皮膚治療装置に 40 % の前記工学歪みまで歪みを与える前記荷重は、前記皮膚治療装置の 1 mm 幅当たり約 0.5 ニュートンより大きくない、項目 6 5 に記載の引張装置。

(項目 6 7)

前記引張部材は、前記皮膚治療装置の 1 mm 幅当たり少なくとも約 0.35 ニュートン

の荷重を用いて前記皮膚治療装置に 60 % の工学歪みまで歪みを与えるように構成されている、項目 63 に記載の引張装置。

(項目 68)

前記皮膚治療装置に 60 % の前記工学歪みまで歪みを与える前記荷重は、前記皮膚治療装置の 1 mm 幅当たり約 1 ニュートンより大きくない、項目 66 に記載の引張装置。

(項目 69)

前記引張部材は、前記分離力を及ぼすように構成された弾力性部材を備えている、項目 63 に記載の引張装置。

(項目 70)

前記弾力性部材を第 1 の構成まで引き込み、その後前記弾力性部材を歪みを与えられた構成まで解除するように構成された圧縮部材を更に備えていて、それによって、歪みが、前記第 1 及び第 2 の取り付け部分に取り付けられた皮膚治療装置に生み出される、項目 698 に記載の引張装置。

(項目 71)

前記弾力性部材を前記第 1 の構成に解除可能に係止するように構成された解除可能係止機構を更に備えている、項目 709 に記載の引張装置。

(項目 72)

前記係止機構は、前記皮膚治療装置の所定の歪みの範囲に対応する弾力性部材構成の範囲に亘って係止するように構成されている、項目 71 に記載の引張装置。

(項目 73)

前記係止機構は、約 0 % から約 60 % までの範囲内の所定の歪みの範囲に亘って係止するように構成されている、項目 72 に記載の引張装置。

(項目 74)

前記係止機構は、約 10 % から約 50 % までの範囲内の所定の歪みの範囲に亘って係止するように構成されている、項目 72 に記載の引張装置。

(項目 75)

前記引張部材は、前記分離力を及ぼすように構成された機械力アプリータを備えている、項目 63 に記載の引張装置。

(項目 76)

前記機械力アプリータは、前記力をかける力学的利点を提供する、項目 75 に記載の引張装置。

(項目 77)

前記機械力アプリータは、手動で作動させることができる、項目 75 に記載の引張装置。

(項目 78)

前記第 1 及び第 2 の取り付け部分の少なくとも 1 つは、フックアンドループ機構を備えている、項目 63 に記載の引張装置。

(項目 79)

前記第 1 及び第 2 の取り付け部分の少なくとも 1 つは、前記皮膚治療装置の開口部で受け取られるように構成された延長部材を備えている、項目 63 に記載の引張装置。

(項目 80)

前記第 1 及び第 2 の取り付け部分の少なくとも 1 つは、皮膚治療装置の取り付け部材を受け取るための開口部を備えている、項目 63 に記載の引張装置。

(項目 81)

前記第 1 の取り付け部分と前記第 2 の取り付け部分の少なくとも 1 つは、前記皮膚治療装置の分離を円滑にするために前記引張部材に対して動くように構成されている、項目 63 に記載の引張装置。

(項目 82)

前記第 1 の取り付け部分と前記第 2 の取り付け部分の少なくとも 1 つは、前記引張部材に対して旋回又は回転するように構成されている、項目 81 に記載の引張装置。

(項目 8 3)

前記第 1 の取り付け部分と第 2 の取り付け部分の少なくとも 1 つは、前記引張部材に対して引き込むように構成されている、項目 8 1 に記載の引張装置。

(項目 8 4)

前記引張装置は、使用者が皮膚治療装置を被術者の皮膚に貼り付けることを可能にするように構成されたアプリケータである、項目 6 3 に記載の引張装置。

(項目 8 5)

被術者の皮膚に貼り付けられている皮膚治療装置に圧力を加えるように構成された圧力パッドを更に備えている、項目 6 3 に記載の引張装置。

(項目 8 6)

前記圧力パッドは、前記第 1 及び第 2 の取り付け部分の間に位置している、項目 8 5 に記載の引張装置。

(項目 8 7)

前記引張部材は、曲線構成を有している、項目 6 3 に記載の引張装置。

(項目 8 8)

前記引張部材は、曲線平面構成を有している、項目 8 7 に記載の引張装置

(項目 8 9)

前記引張部材は、所定の係止構成に対する変形に自動的に追従して係止するように構成され

(項目 9 0)

治療装置を表面に貼り付ける方法において、
治療装置に少なくとも所定の歪み閾値まで歪みを与えるように前記引張装置を作動させることと、

前記引張装置へ加えられる力の外部印加を必要とせずに前記治療装置の歪みを維持することと、

前記歪みが与えられた治療装置を治療部位に貼り付けることと、
前記治療装置を前記引張装置から取り外すことと、から成る方法

(項目 9 1)

前記引張装置を作動させる前に前記治療装置を前記引張装置へ取り付けを更に備えている、項目 9 0 に記載の方法。

(項目 9 2)

前記引張装置を作動させることは、前記引張装置を圧迫することを備えている、項目 9 0 に記載の方法。

(項目 9 3)

前記治療装置の前記歪みの少なくとも幾つかを解放することを更に備えている、項目 9 0 に記載の方法。

(項目 9 4)

前記治療装置の前記歪みの少なくとも幾つかを解放することは、前記引張装置を折り畳むことを備えている、項目 9 3 に記載の方法。

(項目 9 5)

前記引張装置を、前記引張装置を作動させる所定の構成に係止することを更に備えている、項目 9 4 に記載の方法。

(項目 9 6)

前記引張装置に係止することは、前記治療装置に前記所定の歪み閾値まで歪みを与えた後、自動的に起こる、項目 9 5 に記載の方法。

(項目 9 7)

前記治療装置の中の前記歪みを解放することは、前記引張装置の係止機構を解除することとを備えている、項目 9 5 に記載の方法。

(項目 9 8)

前記治療装置を前記引張装置に取り付けることは、前記引張装置上に位置する 2 つの取

り付け機構を使用して、２つの別々の場所で行われる、前記治療装置を前記引張装置に取り付けることを備えている、項目 9 0 に記載の方法。

(項目 9 9)

前記治療装置を前記治療部位に押し当てることを更に備えている、項目 9 8 に記載の方法。

(項目 1 0 0)

前記治療装置を押圧することは、前記治療装置を前記引張装置から取り外す前に行われる、項目 9 9 に記載の方法。

(項目 1 0 1)

前記治療装置を押圧することは、前記引張装置の前記 2 つの取り付け機構の間に位置する弾力性スタンプ機構を押し下げることがを備えている、項目 9 9 に記載の方法。

(項目 1 0 2)

前記治療装置を押圧することは、手動で前記治療装置の上に押圧するために前記引張装置のアクセス開口部に手を入れることを備えている、項目 9 9 に記載の方法。

本明細書に記載される装置、キット及び方法は、概ね平面的な力を包帯から皮膚表面へ伝達するために皮膚接着剤を使用して後に皮膚に貼られる弾性皮膚治療装置に所定の歪みを加える及び / 又は維持することによる瘢痕及び / 又はケロイドの治療、改善又は防止を含む、創傷治療用のものであり得る。アプリケータは、歪みを加える及び / 又は維持するために使用され、アプリケータの幾つかは、更に、皮膚治療装置の上に荷重を及ぼす時に、少なくとも幾つかの力学的な利点を使用者に提供するように構成されている。